

【伊藤総領事メッセージ 2019年10月】

夏休みが終わって9月に入ると、総領事館の仕事もギアが一段も二段も上がったように多忙になります。トロントで9月と言えば、毎年約10日間にわたり



トロント国際映画祭 (TIFF) が開催され、世界各国から映画スターや有名監督達が連日トロントを訪問します。今年は日本から7本の映画が招待されて上映されましたが、9月9日には国際交流基金トロント事務所と日本政府観光局トロント事務所の共催により、トロントを訪問中の監督をお招きして「Japan Film Night」が開催されました。私も挨拶を述べるととも

に、日本酒を提供いたしました。約200名の映画産業関係者や日本映画ファンの方々が集まり盛況を極めた会場には、4名の日本人



監督(黒沢清氏、是枝裕和氏、HIKARI氏、深田晃司氏)も来訪され多くのゲストと懇談されましたが、すべての監督が一様に口にされたのは、日本国内でも他の映画祭でも、他の日本人監督と会って話をする機会はずがないので、トロントでそのような機会を持ってとてもうれしい、ということでした。トロントが何と光栄な場所であるのかを感じさせられた一コマでした。来年も、日本映画

の活躍と多くの日本人監督の御来訪を期待したいと思います。

7月に東京で発表された外務大臣表彰の表彰状が当地に届いたのを受け、これらの表彰式も行いました。当館関係では、本年は1個人3団体が受賞されました。

個人では、伊藤真也トロント小児病院小児科臨床薬理学部長、団体では、ハミルトン日系文化会館、和太鼓の演奏や指導を20年以上にわたり行っている永田社中、フィギュアスケートの分野で50年以上にわたり日本選手の指





導や交流を継続してきたクリケット・スケーティング・アンド・カーリング・クラブです。いずれの方々も長期にわたり日本とカナダの交流や友好促進に御尽力いただきました。

特に、クリケット・クラブへの表彰に関してお世話になったジョイス・ハイジー元国際スケート連盟副会長は、既に90歳を越えられた御高齢ながら非常にかくしゃくとされ、表彰式での司会は「私がするから」と積極的に引き受けてくださったのみならず、歴代の日本人スケーター達に連絡を取ったり、表彰式当日にはこれまで日本の友人達から贈られた人形や舞扇などを飾ってくださったりと、表彰式の開催にあたって大変な御協力をいただきました。かつてフィギュアスケートの「チーム・カナダ」のキャプテンでもあった彼女のリーダーシップと行動力には私も脱帽するばかりでした。そのハイジーさんがとても大切な宝物だ、と私に見せてくれたのは、長野オリンピックの際に現在の天皇皇后両陛下（当時の皇太子同妃両殿下）がフィギュアスケートを御観覧された際、彼女が案内役として隣に座って御説明している様子を映した写真でした。この10月には世界各国からの代表の前で即位の礼が行われることを説明したところ、日本の天皇陛下になられる方に御説明するという大変な光栄を得た、（両陛下は）非常に素晴らしい方々だった、と目を輝かせて語っていました。



外務大臣表彰は、国際関係の様々な分野で活躍し、日本との友好親善促進に少なくとも5年以上にわたり多大な貢献をされた個人や団体に対し、毎年1回、表彰を行っています。自薦・他薦を問わず、良い候補がいらっしゃる場合には当総領事館まで御連絡ください。

冬が来る前に州内の地方も訪問しておこうと、出張にも出かけました。岐阜市と姉妹都市であるサンダーベイ市は、教員交流、学生交流、そしてそれぞれの市の代表団の交流等を続けてきているとのことです。市内にあるレイクヘッド大学は、日本の6大学と交流協定を結んでおり、私が訪問した際には1学期間の交流で滞在中の日本人学生の方々とも話をする



ことが出来ました。レイクヘッド大学を選んだ理由を聞くと、一番多かったのが「自然が素晴らしいから」という答えで、本当にのびのびと学生生活を楽しんでいる様子が見られました。日本人学生のお世話を献身的にされる日本人女性スタッフにもお会いし、学生達に信頼され、輝く笑顔でお仕事をされている様子に感銘を受けました。レイクヘッド大学内では、カナダ国際問題評議会サンダーベイ支部の協力を得て、日加関係についての講演も行いました。



サンダーベイ市から飛行機で1時間ほどのところに、北海道下川町と姉妹都市関係にあるケノラ市があります。普段の人口は1万6000人ほどですが、多くの美しい湖と島とにより夏は観光客にあふれ、約6万人の町に変わるそう



です。郊外には、水銀汚染の関係で水俣病治療の医療関係者と交流を持つ先住民の村もあります。市長表敬の後に訪問した地元の新聞社や経済開発委員会で会ったのは若い人々ばかりで、町の将来を熱心に考えて日々の仕事に取り組む姿がたくましく思われました。ケノラ市では、地元のロータリークラブの場で、日加関係についての講演を行いました。

トロントから車で1時間半ほどのクラリントン市は、町村合併前にニューキャッスルと呼ばれていた地域があります。実は、世界中で「ニューキャッスル」の名前を持つ市町村が集まる「ニューキャッスル・サミット」なるものが2年に1度開催されており、2016年にはこのオンタリオ州のニューキャッスルで、また昨年2018年には愛知県新城市で開催されています。ニューキャッスルでは、昨年の新城市でのサミット開催前にお会いした代表団の皆様とほぼ1年ぶりに再会しました。皆さんが日本での歓待、特に新城市の子供達による暖かいもてなしに心を打たれた話をしてくださり、ニューキャッスル・タウンホールの前で



は日本のモミジの植樹もすることができました。

私たち政府機関の知らないところで、自らのイニシアチブと努力により、日本との友好親善を長い間進めてくださっている多くの方々に接する一ヶ月となりました。この機会に改めて感謝の気持ちを表明するとともに、今後も日加間で一人でも多くの方々に皆様の善意と友情が届くように御協力いただきたいと願っております。もちろん、私ども総領事館としてもできる限りの努力をしまいる所存です。